



朝十小だより

学校教育目標 意欲ある子・考える子・健やかな子
～ 豊かな学びで社会に向けて希望を持った児童がそろう学校～

朝霞市立朝霞第十小学校
発行日 令和7年6月2日
〒351-0023
朝霞市溝沼828-1
Tel. 048-469-5443
在籍児童数 690名

修学旅行を振り返って

校長 宮腰高子

先日、6年生が修学旅行に行きました。学年で決めたスローガンは「一致団結」でした。そこで、出発式では「皆さんの一致団結した姿を楽しみにしています。それからもう一つ、様々な人たちが、社会を支えるために一致団結している姿も沢山見つけてください。」と話をしました。

旅行は、天気にも恵まれとても充実していました。夕食後には、ふくべ細工体験を行いました。ふくべ細工とは栃木県の伝統工芸品です。ホールに敷き詰めたブルーシートの上で一人一人が思い思いの作品を制作しました。みんな真剣です。制作の様子を見ながら児童に声をかけると、「ありがとうございます。」と笑顔付きの返事がたくさん返ってきました。素敵なことだと伝えると「先生に、『ほめられたらありがたいという』と良い」と教わりました。」とのことでした。なるほど、人にほめ言葉をかけられたらどのように対応するのかをこの子たちは教わってきていると知りました。そして、この子たちはそうすることの良さも体験し、『ありがとう』の言葉を自分のものになっているのです。修学旅行はこのように『ありがとう』の言葉に満ちた二日間でした。

今の時代、大人同士のやり取りは SNS 上で行われることが多く、子供たちは、大人のそばにいても人と人とのかわり方について目や耳にすることは少なくなってきているのかもしれませんが。ちょっと前なら、対面だけでなく電話でやり取りしているのを横にいて耳にしていました。欠席の際の学校とのやり取りも、以前は連絡帳で書き出しや文末に一言添えていました。今は、tetoru で用件のみです。買い物も、スマートレジでは会話は一切ありません。簡単で、「タイパ」の良い生活です。しかし、言葉を挟まなくても知っていながらやっている大人と、知らないままこの環境に置かれている子供とは同じことをやっても何かが違うことは明らかです。

少し先の未来さえ予測困難な時代です。子供たちがつけるべき力は、知識や技能を持ちながらも、自ら目的を持ち、いろいろな人や情報と対話をしながら答えを求め続け進んでいける力と考えられます。挨拶はその切り口の一つです。様々な



【華厳の滝】

場面でそれぞれの対応があるので、それは大人が教え、その姿を実際に見せる必要があります。

そして、それが地域ぐるみでできているのが十小の強みと感じます。本校では、登校時間に多くの保護者や地域の皆様が児童に挨拶の声をかけてくださいます。大変にありがたいことです。



【戦場ヶ原ガイドツアー】



【東武ワールドスクエア】



本校は学校応援団の活動が盛んで、長きにわたり学校を支えていただいております。現在の取組として、学習支援（ステップアップ教室等）、学校農園の維持管理、学校の安全や環境整備、その他様々な内容があります。ご都合が合うようでしたらぜひご参加ください。今後も、各種便りや tetoru にて案内を通知いたします。一度きりの参加でも構いません。「出来るときに、出来る人が、出来ることを」。どうぞよろしくお願いいたします。



【ジャンボかぼちゃを育てよう】



【読み聞かせ・はっぴいさん】



【ステップアップ教室】



【学校農園】

